

ヤマザキ動物専門学校
学校関係者評価委員会 報告書

令和7年7月4日

1.日時 令和7年7月4日(金) 15:00~16:00

2.場所 ヤマザキ学園 渋谷キャンパス2号館 A棟1F111教室

3.出席者

(1)学校関係者評価委員 任期は何れの委員も1年

碓井 菜那(関水動物病院 愛玩動物看護師長 企業等委員)

早川 明子(特定非営利活動法人 日本動物衛生看護師協会 卒業生)・委員長

吉田 美江(ヤマザキ動物専門学校 保護者・後援会副会長)

(2)専門学校出席者

井上 留美 (ヤマザキ動物専門学校 校長)

内田 明彦 (ヤマザキ動物専門学校 副校長)

佐藤 恵子 (ヤマザキ動物専門学校 事務部長)・司会

橋本 直子 (ヤマザキ動物専門学校 教育部長)

井上 桃子 (ヤマザキ動物専門学校 事務部教務・学生課長)・書記

(3)委員からの評価と質問及び回答

■教育目標と本年度の重点目標の評価 【可】

委員からの質問・意見	質問・意見への回答
大きな目標として「愛玩動物看護師国歌試験の合格」に加え、建学の精神や教育理念を大切としたカリキュラムが組まれている。職業実践専門課程の認定を受け、動物業界のニーズにも迅速に取り組む仕組みや年2階の教育課程編成委員会での教育内容検討、動物看護専門の職業人としての豊かな人間性、幅広い視野を持った人材育成が徹底されていると感じた。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。教職員の励みになります。今後も、学校全体で学生をバックアップすることで国家資格の合格率向上や退学者減少につなげて参る所存です。

■基準1. 教育理念・目標・育成人材像 【可】

委員からの質問・意見	質問・意見への回答
国家試験受験に必要な1,800時間に加え、独自の960時間のカリキュラムではグルーミングやトレーニングも総合的に勉強できることが強みだと感じます。その証として特定非営利活動法人 日本動物衛生看護師協会のライセンス取得率が上がるよう、特定非営利活動法人 日本動物衛生看護師協会としても協力していきたいです。	1年次のアッセンブリーアワーにて資格についての講義を行う回があります。その際に貴協会の方をお呼びして資格についての説明をして頂く時間を設けることで、資格取得についての学生の意識を高めることにつながるのではないかと考えます。今後、具体的に検討して参ります。

■基準2. 学校運営 【可】

委員からの質問・意見	質問・意見への回答
各委員会が機能し、適切な運営がされていると思います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。今後も適切に運営してまいります。

■基準3. 教育活動 【可】

委員からの質問・意見	質問・意見への回答
国家試験100%合格に向け、国家試験対策小委員会を中心に研修先や求人先からのフォードバック、学生アンケート等を取り入れることで、様々な角度から教育内容の充実を図っており、国家試験合格率100%を達成したことにつながっていると感じました。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。教職員の励みになります。今後も、学校全体で学生をバックアップし、国家試験合格率100%達成を継続するため努力を重ねて参ります。
昔より主体的に動けない、ずっと立ったまま、挨拶が出来ない学生さんが増えた印象です。研修生の立場からすると、忙しく働いている人に声をかけるというのは難しいのだと思いますが、せっかく研修に来てくださっているのです、もう少し自主性をもって臨んでもらえると今後のためにも良いと思います。	学生に話を聞くと、スタッフの方にどう話しかけたらよいか、声を掛けるタイミングがすごく難しいようで、最後のレポートでは「主体的に動けなかった」と反省点を記載しており、彼らなりに悩みはあるようです。決してやる気がないわけではないようですが、結果的に研修態度として見えないため、動物病院側からも指摘されることがあります。その一方で、自主的に動くことができ

	た学生が高い評価をいただくケースもあります。事前学習で指導していきたいです。
--	--

■基準4. 学修成果 【可】

委員からの質問・意見	質問・意見への回答
国試取得に向けた意識付けを早い段階から行い、学年ごとの成長に合わせたサポートが的確に行われ、高い合格率に結びついていると感じます。就職という大きな人生においての出来事において、キャリア支援センターやクラスアドバイザー等の多くのキャリアサポーターによる支援体制が整う環境は理想的であると思います。	クラスアドバイザーとキャリア支援センターが連携を取ることでタイムリーな就職指導が行えると思います。キャリア支援センターによる授業も学生の意識付けに役立っております。今後もより一層、密に情報共有をし、学生の希望に沿った就職につながるよう指導して参ります。
在校生は男子の比率が少ないのですが、就職先で男子ならではのメリットになるようなところはあるのでしょうか。	昔は女性社会でしたが、最近は男性看護師も増えて、職能団体でも男性の方が活躍されています。女子は家からあまり離れたくない傾向が強いのですが、男子は通いやすさ、といったところは気にせず就職先を選んでいる印象があります。犬も宿泊できるリゾートや、最近はグループの動物病院、起業系の動物病院は転勤がある病院も増えてきていますので、男子の就職も多いようです。

■基準5. 学生支援 【可】

委員からの質問・意見	質問・意見への回答
就職委員会及びキャリア支援センターの連携で、細やかなサポートが行われていると感じました。また、人としての教養、特に「挨拶」は第一印象を決める重要な役割がありますが、意外と身についていなかったりするものなので、基本を大切にする指導が就職先からの高評価につながっているように思います。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。教職員の励みになります。外部実習である動物看護総合実習の事前実習では、挨拶や立ち居振る舞いの指導も行っております。その成果が実習先や就職先で発揮できると良いと思います。
多様化する学生の気質への対応として、スクールカウンセラーというプロの手も借りたサポート体制は、教職員の負担軽減にもつながると思います。教職員も学生も授業に集中できる環境づくりにつながっていると感じました。	クラスアドバイザーとスクールカウンセラーが連携し、学生支援を行うことにより、学生は心の安心を得ることが出来るため、中途退学防止につながればと考えております。学生が安心・安全に通える環境作りを今後も心掛けていきたいです。また、令和7年度より看護師も常駐するようになりましたので、心身ともに安心・安全に学校生活を送れる体制となっております。
既卒者が増えたのは、国家資格になった影響ですか。	動物取扱責任者は国家資格取得者であればスムーズに取得できますので、動物の知識を活かした仕事をする、というようなキャリアチェンジする方の入学が増えている印象です。既卒者も高卒の学生さんとも仲良く馴染んでいますし、多様性のある学校となっております。

■基準6. 教育環境 【可】

委員からの質問・意見	質問・意見への回答
学生が学ぶ環境の整備は大切だと思います。日々新しい機器も世の中に出てくるといいますので、社会の動きに合わせた教育環境が整うことは重要だと思います。	愛玩動物看護師国家試験に対応するために、実習器具等の更新、効果的な教材の導入を適宜行っております。学生トイレの更新については年次計画で行っています。今後も学生の学びの環境が充実するよう計画的に進めて参ります。
海外研修旅行や国内研修旅行といった非日常体験を通して感じることは、若い学生にとって良い刺激になっていると思います。	海外・国内とも併設校3校合同で行いますが、毎年、希望者が参加できています。貴重な学びの機会ですので、今後も国際情勢を加味しながら継続していく予定です。

■基準7. 学生の募集と受入 【可】

委員からの質問・意見	質問・意見への回答
時代の流れに合わせ、対面とオンラインで多様化する受験生のニーズに応えることで、入学定員の確保につながっていると思います。大学、専門職短期大学、専門学校との3校がある強みを生かした募集活動が功を奏したと思います。	国家資格化に伴い、本校を志望する方の幅が広がりました。社会人や遠方の方でも参加しやすい方法を工夫していきたいです。また、併設校のある強みも生かした教育を続けて参ります。

す。	
----	--

■基準 8. 財務 【可】

委員からの質問・意見	質問・意見への回答
特になし	

■基準 9. 法令等の遵守 【可】

委員からの質問・意見	質問・意見への回答
特になし	

■基準 10. 社会貢献・地域貢献 【可】

委員からの質問・意見	質問・意見への回答
学校の特色に合わせた社会貢献を行っていると思います。学生の時に参加するボランティア活動は、自らの価値観や職業観を考える良いきっかけになるとと思います。生命への畏敬を重んじる学園の教育にとっても合っているように感じました。	ボランティアクラブは創設以来、その時々合った内容で、活発な活動を行ってまいりました。今後も動物や社会に役立つ活動を継続していく予定です。

記録／事務部 井上桃子